

東京形成歯科研究会 &インプラント国際情報

H.24.5.11 (FRI)
No.12

原稿募集中

発行

編集 東京形成歯科研究会
企画 オクデラメディカル
発行者 奥 寺 元

東京都北区王子2-26-2-3F
TEL 03(3919)5111
FAX 03(3919)5114
E-mail: okudera@carrot.ocn.ne.jp
http://www.tpdimplant.com/

第41回(公)日本口腔インプラント学会 総会・学術大会を終えて

東京形成歯科研究会 会員 田中 かずさ



日本
列島を
台風15
号が直
撃し、

ませんでした。

東京都心で交通網がマヒし、渋谷駅でバスを待つ人の長い行列がテレビで流されていた事は記憶に新しいでしょう。私達はその前々日に第41回(公)日本口腔インプラント学会総会・学術大会を終え、名古屋から帰ってきました。今大会は木曜日にケースプレゼンテーション試験があり、診療室及び勤務先を何日も休まなければならず、大変だった先生もいらした事でしょう。そんな中行われたインプラント学会。会場は名古屋駅から地下鉄で15分程の「名古屋国際会議場」で行われました。オーラル・ポスター共に発表に対する活発な質問が飛び交い(少しバトル等もあり)、学会に対するまたはインプラントに対する先生方の熱い思いが感じられました。さらに、今年もランチョンセミナーにとっても多くの先生が参加され、そこにも勤勉さを感じずにはいられ

ませんでした。さて、私達東京形成歯科研究会の先生方9名で18日(日)の学会を終え、その足で鳥羽先生先導の下、名古屋駅から近鉄線(古谷田先生いわく昔はおしほりを配っていたとの事)に乗り、ミキモトパール島で有名な鳥羽へと慰安旅行に出かけました。賢鳥行きの特急に乗る事1時間40分。お弁当(おつまみ)と飲み物を買って、学会の事、原稿の事等をお話しながら車中はさすがに大人の遠足のような感じがしました。木下先生は少しビールが足りなかった様子で、途中から車窓を眺めていました。もしかししたら、途中駅でビールの自販機を探していたのかも…。

鳥羽に到着後、一行は疲れた体を癒すため足早に温泉へ。ちよつとスパ風の温泉で源泉はアルカリ性。ぬるめの湯でありましたが、疲れが取れました。渡辺先生は学会のポスターを見てから一足遅く鳥羽に到着したため、荷物を持ったまま温泉へ直行していました。その後、楽しい宴会へ。メインのお料理は何と言っても伊勢湾で取れた新鮮な桶盛り。スイ

カが丸ごと入るような桶に、伊勢海老、ほら貝、桜鯛が綺麗に乗っていました。もちろん伊勢海老は丸ごと(後でお味噌汁の出汁にしてくれるとの事)、ほら貝はひょうきん族でたけちゃんマンを呼んでいた位の大きさの物。後は松阪牛も堪能しました。小嶋先生が「熱燗じゃんじゃん、一本持つてきて〜!」(一同笑い)と、愛知県産を含めたお酒もたくさん呑み、楽しい宴となりました。

翌日は朝9時にホテルを出発し、鳥羽駅から9人乗りのジャンボタクシーに乗り、いざ「伊勢神宮」へ。9人乗りなので先生方とおしゃべりをしながら楽しく行こうと思っていたら、突然運転手さんから上から目線の声。「お客さん達、お伊勢さんは初めてですか?」と、威嚇的とも思える関西弁が車内にどろきしました。それから「お伊勢さん」についてのマシガントークが続きました。その後、タクシードライバーにもなった縄が台風で切れてしまった夫婦岩へ(行った時には修復されていました)。夫婦岩を見学後、伊勢神宮到着前に運転手さんが、赤福よりも創業が200年も古いと言う福もち本店へ案内してくれました。赤福よりもぜんぜん甘くて(帰りの電車内で食べ比べた結果)、甘党の奥寺会長も「これは甘いね」と1個半でギブアップ。

いよいよ伊勢神宮へ到着。伊勢神宮は外宮と内宮とあり、時間の関係上今回は内宮だけ参拝しました。運転手さんが内宮は右側通行と言ったのを思い出し(ちなみに外宮は左側通行だそうです)、右足から鳥居をくぐりました。3連休プラスお天気が良く、気温も高く汗だくになりました。本殿までの長いじやり道を歩き、やつとお賽銭をチャリン。2拝2拍手1拝。参拝後、おかげ横丁で名物の伊勢うどん(かなり軟らかめのうどんをきじょうゆで)を食べ、暑かったのでビールを少々。その後名古屋駅まで戻り、新幹線で東京に帰って来ました。1泊2日の忙しい旅でしたが、とても楽しかったです。また、会員の先生方と肩を並べて(私には100年早い)旅行に行けるように、明日から歯科道(インプラント道)に励もうと思ったのでした。

学会参加者と親善旅行

コラム

小嶋 榮一 先生のある日々

養生になるように努力してます。
後期高齢者 75 歳の戯言ですが…



2011年(平成23年)は、私にとりましては人生の一頁を記述する事が多くありました。

●6月11日(土)・12日(日)

今回、東京国際フォーラム(有楽町)にて、第29回日本顎咬合学会学術大会・総会が開催され、

Title:「Partial denture よりも Dental implantの方が優れる」

― 高度先進医療40年の臨床 ―
で発表しました。今回のCaseは、私とDr.竹下の40年の集大成のような研究成果だと思っています。現在はルーチンに下記のようにOpexを行っています。

- ① Blade から Root form へ
- ② バントモからCTによる画像診断
- ③ Sinus floor elevation 上顎洞底挙上術
- ④ PRP (多血小板血漿) システム応用患者(本人)の静脈から採血する
- ⑤ 人工膜・人工骨を使用
- ⑥ Titanium Custom Endosteal Implant (骨膜下)
- ⑦ HAコーティング、米国で製作。残念ながら日本ではできません。

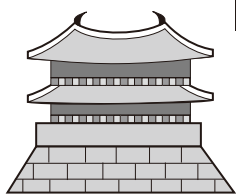
⑦ Immediate implant placement (抜歯即時インプラント埋入及び即時荷重)

●8月7日(日)

Dental implant の師匠である故乙部朱門先生の十七回忌を実家があります荒川区南千住「円通寺」にて、日本インプラント臨床研究会(会員130名) 現会長井汲憲治、名誉会長小嶋榮一他、故乙部朱門先生の息がかかった有志18名が集まり、御線香と塔婆をあげ拜んで来ました。Linkow 先生からもメッセージをいただきました。草葉の陰から「ヨーツ!コジマ。この暑いのに皆を連れて良くてくれたなあ」と喜んでいてと思います。勿論、乙部先生が大好きであったお酒で一杯やりました。うかい亭烏山にて。(次頁下へ続く)



ISBB 国際血液生体材臨床応用会議 Workshop を企画して



日本口腔インプラント学会認定施設長 奥寺 元



Dr. Lee と共に (診療所)



韓国 OSTEEM 工場にて



学会場前



三大学会長と発表者と共に



実習終了後受賞者と

国際的有名血液専門家、幹細胞研究学者の参加者によって、ワークショップが2011年12月10日(土)～11日(日) BEXCO 釜山(釜山広域市海雲台区冬柏路116)で盛会裏に開催された。今回も東京形成研究会の開催主管で企画構成され、東京形成の会員は、海外研修も兼ねながらの参加であった。9日(金)、日本からの参加者は羽田空港に早朝集まり、ソウル経由で釜山に着き、台湾の先生方と合流し、韓国最大のインプラント会社の工場を訪問した。技術者にインプラントの性状コンセプトを科学的見地からレクチャーして頂き、英語でやりとりを会員共々行い、専門用語に対してはなじみが深く、意外と理解できた。参加者の面々の感想であった。同行した台湾のDr.も自国語を話しながら理解をしていたので同じように思えた。極めて国際的な雰囲気はこのようなツアーでしか味わえないものであった。翌日は釜山での最大級の診療所持つ、李亨謨先生の診療所を見学した。さすが釜山の名医と言うだけあり、現在インプラント臨床における近代臨床全ての設備とシステムを遺憾なく発揮されている診療所であった。

まだ高校生の息子さんが李先生の代わりに流長に英語と日本語で韓国語を通訳して頂いた。時代を担う若手が既に育っている事に目を細めた。その後、Korean Academy of Oral and Maxillofacial Implantology (KAOMI) の年次総会に招待をされ、CAND・CAMシステムをテーマに取り上げられ、300人の参加が熱心に聞いていた事に、韓国の動きを注視しなければならぬ気がした。その席で、翌日に行われるISBBワークショップの紹介を私と台湾の蘇先生の紹介を受けた。翌日、釜山最大のニューススポット BEXCO 釜山の大会場で早朝からISBBをスタートした。多数の聴講者を前に、各先生方が聞きかじり発表ではなく、今なお研究している内容であり、聴講者にはインパクトを与える事が出来た。会場を変えて、認定医取得のためのHand on clinicとして、生体実習と口頭試験を開催し受験者全員合格した。この認定証は企業のコースではなく、純粋な学術場の認定で、ヨーロッパ学派とアメリカ学派のお墨付きでもあり、韓国の受験者は感激していた。

(前頁下より続き)

●8月9日(火)

第51回二火会例会で、銀座スタディーグループ二火会会長・金田義夫先生が来年二〇一二年一月で、めでたく満百歳を迎えますにあたり、白寿(九十九歳)のお祝いを銀座交詢社で行いました。誠にお目出たい限りです。

●8月28日(日)

私の誕生日。この日で私は満75歳になり、後期高齢者の仲間入りをしました。毎年8月28日を中心に、2泊3日で家族・孫5人と一緒に群馬県の四万温泉と水上温泉に遊山に行つて来ました。

●9月11日(日)

New Yorkの世界貿易センタービルがテロによって爆発されて10年になりますが、私にとりましては第二の故郷で忘れる事は出来ません。それは、10年前にAID第50回学会がNew Orleansで開催されるに当り、参加発表するために前もって演題を出したところ、採用の通知が来ました。第50回記念と云う事です。私、私も飛び上がって喜びました。学会日は二〇一一年11月14日～18日でした。しかし、テロ事件が9月11日ですから、アメリカでは国際的な大きな学会や事業はほとんど中止命令がでました。日本でも茶の間のTVでNew Yorkの世界貿易センタービルがテロの飛行機によって体当たりされ爆発。ビルが崩れ黒煙が…。この映像が一日中放映され見ている事を忘れられません。その数日後に、大國アメリカのブッシュ大統領は急遽声明を発表し、今まで計画していた事業や学会は中止しないで再開するように。このまま中止する事は、アメリカはテロに屈し負ける事になる。アメリカの強い軍隊が平和な人々を守るから、ぜひ再開してほしいと強い命令が出たという

内容をAID学会マーチン会長から手紙をもらいました。私はブッシュ大統領・アメリカ合衆国を信用して学会に参加して来ました。第50回AID New Orleans学会では、アメリカでもトップのCarl E. Misch先生と一緒に発表し、私は「トリ」を務めました。

●9月16日(金)・17日(土)・18日(日)

第41回公益社団法人日本口腔インプラント学会・学術大会が、名古屋国際会議場で開催され、私も

「Title:『上顎臼歯部片側遊離端欠損部のインプラントによる処置について』」

— 40年の経験より —

を発表しました。考えてみますと、私は一九七四年に第3回福岡・九州大学歯学部補綴学教授、末次恒夫先生が大会長で開催された際、このようなアカデミックなインプラント学会で発表したのは初めてでした。数えましたら今年で38回。38年間毎年発表してきました。このような事が認められてか……? 認定医第一号・指導医第一号・専門医第一号を学会から与えられました。ちなみに現在在正会員が一万人以上と云う事です。

同じ書を師匠のLinow先生に送りましたところ、先生から

「Thank you also for the excellent. It was a wonderful tape.」

素晴らしい内容であるとお誉めの言葉をいただきました。私もあと5年は現役で……。いや現実には1年……。1年……。75歳を初心として

1. 健康第一
2. 家庭を愛し
3. 仕事は命をかけて
老骨にムチ打ってガンバリます。
師資相承→晴耕雨読になりました。

認定講習会に参加して

—多方面のバラエティーさに感激—



東京形成歯科研究会 会員 根津 雅彦

平成23年4月24日(日)より始まったインプラント認定講習会。ドキドキの中、我がせんべいの町、埼玉県草加より電車を乗り継ぎ京浜東北線で日暮里駅から王子駅へと向かった。王子駅改札を抜け北本通りを赤羽方面へ歩く事5分、右側にグリーンの大きなビルが見えてきた。ここが、接骨院やトレーニングジムも併設してあるのかと少し親近感を覚えた。と言うのも私も幼少より柔道をやっており、趣味が高じて道場を開き、近所の子供たちに柔道を教えている。常に私の傍にはベンチプレスやバーベル等が備えられている。

さて、エレベーターで4階へ上がるとまずトレーニングジム。スゲーッ。とつぶやく。そして壁には奥寺先生の柔道六段の免状。これまた凄い。未だ五段を目指している私にとっては六段はまだまだ先の話ではある。どんな先生なんだろうと想像を膨らませていた。こんな気持ちで認定講習会が始まった。

まず、東海林先生の『私は患者さんより認定医を頂いている』という言葉に始まり、次に古澤先生の臨床での失敗例やそのリカバリーのお話等すぐに役立つ情報をたくさん頂きました。月に一度講習会に通い一番インパクトがあったのは小笠原先生。勢いが凄いです。『採血している先生どれくらいいますか?』と言われた時にハッとする思いでした。今まで採血の必要性も感じていましたが、実際経験はありませんでした。この言葉が頭に残り、他の講習も受けて行きました。補講で参加したライブオペの患者は奥寺先生自身であり、セデーション開始後もできる限り説明を続ける先生の情熱が伝わるオペでした。奥寺俊允先生の手慣れた手つきの採血、セデーション、PRP、PRFの作成は自分の未熟さを露呈するものであり、少しでも知識を得ようと術式、薬剤、使用されている器具等をチェックしていきましました。北村先生、豊田先生による施術も徹底した搔爬を行い、PRPで処理された補填材、PRF、バイオメントを置き何度も剥離歯肉弁を減張切

開を加えながらリプレイスし、テンションをかけないように縫合していきましました。このように他の先生のひとつ一つの手技を見ると本当に勉強になりました。

後半期に入り、特に一番興味がありました12月に行われた東京歯科大学の福田謙一先生の危機管理、救急蘇生、鎮静法の講義。毎日の診療の中で、突然、自分が患者の危機に対応を迫られるシーンがあるだろうと今まで何となくやってきましました。しかし、頭で思っただけでも実際何が出来るかわかりませんでした。マウスチューマウスを併用する救急蘇生は相手が感染症の有無に関わらず、誰にでも抵抗なくできるのか?東京歯科大学の麻酔科ではあちこちにアンビユーバッグが置いてあるというお話を聞き、すぐにアンビユーバッグを購入しました。また、採血や点滴もできなければいけないと思い、採血セット、輸液セットを常備し、まずは自分の上腕を駆血帯

で縛り自分で採血の練習をしました。そのまゝ輸液に切り替え鎮静の練習も行いました。ようやく今では患者さんへ採血はデビュを果たしました。他にもロールワッテ等を気管に詰まらせた後、18Gの針で気管を穿刺するという話を聞くとすぐに18Gの注射針を購入しました。極太でした。気を付けていても起こる時は起こる事故。緊急時の対応をとっても興味深く聞く事ができました。現在は講習会がきっかけで紹介された生体モニターや血液遠心分離機メディフュージを購入し少しでも症例の幅を広げようと試行錯誤しております。



多くの講師の先生方のお話を聞くとやはり自分の経験してきた事を臨床医、開業医の立場でお話をされているので、自身も10年後には少しでも後進の先生にさまざまな経験を話す事ができれば良いかなと思います。

開業して11年、それなりにやってきましたが、諸先輩先生の講義を受け、自分はまだまだ新参者と言う事がはっきり分かりました。

今年度も当院の歯科医師2名が東京形成歯科の認定講習会にお世話になります。彼らと一緒に勉強して行こうと思います。

さまざまな情報、機器、人間、先生に出会う事ができた東京形成歯科研究会に感謝申し上げます。ありがとうございます。

まず認証医。皆様今後ともご指導よろしくお願い致します。

ISBBマニラ大会に参加して 「医療先進国としての役割」



新潟県開業 渡辺 泰典

2012年3月16日〜20日にISBBマニラ大会に参加してきましました。今までも台湾に2回、釜山に1回の海外学会に参加してきましましたが、今回は自分自身が英語で発表させてもらえるという機会を頂きました。英語が苦手なのは自覚していたのですが、準備から大変で、大学の先生等に英訳を頼むと「日本語の主語と述語がはつきりわからないので、訳しようがない」等と言われ、日頃の不勉強を実感しました。そんな状態でも何とか原稿にして、今まで3回の海外の学会の経験もあったため、移動やその他の手配は順調に進みました。この度は東京形成の会員以外にお二人の先生がオープン参加され、ますますISBBの発展に心強く思いました。

いざマニラに着いてみるとさすがに暑いもので、新潟を出てくる時の服装のままだったので、バスの中で着替え、市内の観光へと出かけました。日本と東南アジアの国々との戦争の歴史を垣間見るチャンスもありましたが、なかなか時間が取れず、また自分の学会発表の事等も頭にあると落ち着いて見学する事もできませんでした。マニラ市内のホテルに泊まり、翌日の Philippines National Universityでの学会に備えました。また、マニラでは副学長の Joseph Lim 先生ご招待の夕食会にも参加でき、皆さんと親交を深められました。

学会本番では奥寺会長はじめ、台湾の蘇先生、日本からは奥寺俊允先生、鈴木正史先生、北村豊先生の発表に混じり自分も発表となったわけですが、インプラントの抜歯即時埋入の手技についての自分なりに行っているところを英語で紹介しようという訳です。うまく行くはずもなく、また自分の症例自体もつたない症例で、更にそれを皆さんに見てもらう事となると、恥ずかしい事だらけで、「旅の恥はかき捨て」状態で私の発表は終わりました。

その後、奥寺会長お得意のマリンリゾートと言う事でセブ島に行きましたが、久々のリフレッシュをお陰様で堪能でき、フィリピンの5日間を無事終える事ができました。このような機会を与えて頂き非常に感謝しております。



参加者と共に

ISBB WORKSHOP 2012 IN 韓国、光州 朝鮮大学

血液生体材料応用・幹細胞治療
国際ワークショップA hands-on training program using autologous blood to prepare thrombin
ー自己トロンビン制作法実習ー

ISBB 国際血液生体材料臨床応用会議認定組織再生臨床医試験申込受付中

ー骨軟組織再生とインプラントに係わるポスタープレゼンテーション発表募集ー

近年、顎口腔領域の治療法は著しく発展し、今まで手つかずの顎顔面および周囲組織の再生と保全は重要な治療となり、領域が拡大してきた。しかし、未だ未知なるものが多く今後、しっかりした学問と研究の上から基本的理念が必要で、ISBB は現在行われている PRP・PPP・PRF・PGFA・幹細胞をしっかりと求める学会である。

■開催日(旅行日程) 6月15日～17日

■開催地 韓国光州市 朝鮮大学



Keynote Speakers :

Chosun University
Misomore Dental Clinic
National Taiwan University
Leipzig University Germany
National Yang-Ming University
報徳歯科
エルム駅前歯科クリニック
信州口腔外科インプラントセンター
王子歯科美容外科クリニック
東京形成歯科学研究会Prof.Su-Guam Kim
Dr. Kim Jin Son
Prof.Tzong-Fu Kuo
Prof.Augustinus Bader

Sponsored by

■大会長 朝鮮大学学長 Prof.Su-Guam Kim

蘇 正堯
豊田 寿久
増木 英郎
北村 豊
奥寺 俊允
奥寺 元

Cosponsored by :

National Yang-Ming University
World Federation of Preventive and Regenerative Medicine(WFPRM)
International Society of Blood Biomaterials,Japan(ISBB, JAPAN)
National Health Research Institute(NHRI)
Tokyo Plastic Dental Society(東京形成歯科学研究会)

Dr. 蘇 正堯



Prof.A Bader



Dr. 豊田 寿久



Dr. 増木 英郎



Dr. 北村 豊



Dr. 奥寺 俊允



Prof.Tzong-Fu Kuo



Dr.Kim Jin Son

■お問い合わせ：国際血液生体材料臨床応用会議日本事務局
〒114-0002 東京都北区王子 2-26-2-3F 東京形成歯科学研究会
TEL : 03-3919-5111 / FAX : 03-3919-5114 / E-mail : okudera@carrot.ocn.ne.jp

ISBB チェアマン 奥寺 元



■ISBB国際血液生体材料臨床応用会議 韓国光州大会 (大会参加・認定医申込/〇を入れてください)

ISBB 国際血液生体材料臨床応用会議韓国大会参加申込書

FAX : 03-3919-5114

氏名(フリガナ)	住 所	TEL / FAX

平成 24 年度東京形成歯科学研究会主催、
(社) 日本口腔インプラント学会認定講習会日程表

予定日程	講師	時間	研修内容
1 4月22日(日)	小嶋 榮一 先生 星野 清興 先生	8	概論：インプラントトラブル各種対処法 概論：インプラントの歴史と現状
2 5月27日(日)	白川 正順 先生 大島 勇人 先生	8	循環器疾患とインプラント治療 再生学と口腔解剖
3 6月24日(日)	鴨井 久一 先生 高戸 毅 先生	8	歯科医療の現場から見たインプラント 再生医学の現状と展望
4 7月22日(日)	外木 守雄 先生 浜田 信城 先生	8	睡眠時無呼吸症候群に対する歯科の役割 口腔環境と歯周病細菌の病原因子
5 8月26日(日)	十河 基文 先生 鶴沼 英郎 先生	8	インプラント臨床とCT管理について 合成法に依存して変化するHAの性質
6 9月30日(日)	加藤 仁夫 先生 横田 誠 先生	8	安全な外科処置について インプラントと歯周病
7 10月21日(日)	佐藤 裕二 先生 江原 雄二 先生	8	超高齢者社会におけるインプラント治療 長期臨床と経過不良症例の対応
8 11月18日(日)	Henry SU 先生	8	再生医療の実際
9 12月16日(日)	大木 一成 先生 梅原 正年 先生	8	口腔インプラント患者への対応 インプラント治療の過去・現在・将来
10 平成 25 年 1月20日(日)	林 昌二 先生 前田 芳信 先生	8	インプラント補綴の基本と応用 インプラント治療のコンセンサスの流れ
11 2月17日(日)	松尾 雅斗 先生	8	神奈川歯科大学解剖勉強会
12 3月24日(日)	定永 健男 先生 奥寺 元 先生	8	難症例に対応するには 総論
	研修時間合計	96	

※ 海外研修

6月15日(金)～18日(月) 韓国 光州(朝鮮大学研究交流会)

※ 11月18日(日) 東京形成歯科学研究会 30周年記念

国際シンポジウム「顎再生と保存の基礎・臨床」

東京形成歯科学研究会の海外での活動が認められ、ファイリピン国際大学の客員教授として、北村 豊先生と奥寺 俊允先生が就任されました。

今後、関係諸外国大学へ二名に続く様に、推薦して行きたいと思っています。

会長 記

30周年記念講演会

輝かしい口腔領域の発展と拡大

■日 時：2012 年 11 月 18 日(日)

■会 場：東京大学医学部鉄門講堂 文京区本郷 7-3-1 教育研究棟 14F

■午 前：シンポジウム

テーマ/「顎骨再生と顎骨保全の意義」

■司会座長：医科学研究所 所長 星野 清興

■講演者：東京大学教授 高戸 毅

テーマ/最先端組織再生の現状

台湾陽明大学教授 蘇 正堯

テーマ/血液由来組織再生の現状

東京医科歯科大学名誉教授 石川 烈

テーマ/歯槽骨再生最先端技術

公益法人日本口腔インプラント学会認定施設
東京形成歯科学研究会会長 奥寺 元

テーマ/口腔領域の最先端再生の臨床応用効果

■午 後：市民公開講座 予定

テーマ/「美しい笑顔作りとアンチエイジング」

■出席者：美容外科医 高須 克弥

俳優 宝田 明

(公)笹川スポーツ財団理事長 小野 清子

東京大学教授 高戸 毅

■参加無料/お申込：受付にお声をおかけください。

主催：東京形成歯科学研究会 30周年記念講演会 実行委員会

公益社団法人 日本口腔インプラント学会認定施設
東京形成歯科学研究会